

1 単元名 おなじことば ちがうことば

2 単元について

単元	○身近にあるものを、いろいろな言葉を使ってあらわそうとする。
目標	○他の人の作品を見て、自分の書いた文と比べたり、自分の表現にいかしたりする。

子どもたちは、普段の学習や生活において自分の経験や疑問、思いや考えを伝え合うことを繰り返し経験しており、他者のことばを受け止めたり、よりよく表現しようとしたりする姿勢が育まれていると考える。自分の中にあることばをつかって様々な表現をしたり、他の人の表現を見て自分の表現にいかしたりするような学びを意識し、子どもたちがことばの世界を広げ、ことばによる表現を豊かにしていくことを期待している。

本単元では、自分の身近にあるものになりきって文にあらわすという活動を行う。そのもの自体とじっくり向き合い、目に見える、あるいは知識や経験から想像できることからその特徴や性質を抽出し、ことばに表していく。自分のことばで身近なものを捉え直しながら表現していくことにより、ことばとことばの共起性が整理され、また今まで意識していなかった部分に目を向けることにつながり、子どもたちのことばの世界は広がっていくのではないかと考える。

同じものを選んだ子どもどうし、感想やアドバイスを交換する中で、自分の表現を見つめ直したり、他の人のことばや表現を観察したり自分のものと比べたりする。同じ題材でもその表され方は様々であり、題材そのものに対する多様な捉え方に触れることができるであろうと考える。また、新たに書く自分の作品の中に、他の人のよいと思ったことばや表現、ものの捉え方が反映されていくことで、子どもたちの表現は豊かになっていくであろう。

子どもたちが、視点の変化を楽しみながら自分のことばで表現してみることで、あるいは他の人との交流を通して重なりや異なりを感じながら表現に活かすことを通し、ことばの世界を広げ、またことばの表現を豊かにしていってほしい。

3 学習指導計画(4時間目/全7時間)

- (1) 作品の書き方を考え、グループごとに題材を決める。 (1時間)
- (2) 題材を観察し、作品を書く。 (2時間)
- (3) グループごとに作品を発表し、交流する。 (2時間)(本時)
- (4) 改めて自分の身近なものをひとつ選び、作品を書く。 (1時間)
- (5) 完成した作品を読みあい、感想を交流する。 (1時間)

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

同じものを題材とした作品を発表しあい、感想やアドバイスを交換する。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 作品の発表のしかたを確認する。	○作品の発表および感想やアドバイスの交流にあたっては、単元のはじめに考えた、書くときに意識することを観点として示す。
2 グループごとに作品の発表を行い、その後、作品に関する感想やアドバイスを交換する。	○作品をよりよいものにするために、発表のよかったところや難しかったりわかりにくかったりしたところ、アドバイスなどを伝えられるようにする。
3 今日の学習で気づいたことや考えたことを記録する。	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

学習活動が子どものことばを豊かにしていくものになっていたか。